



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 新日本理化学株式会社

コード番号 4406 URL <http://www.ni-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 藤本 万太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 石野 淳

TEL 06-6202-6598

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	12,503	△11.4	△25	—	△45	—	△214	—
28年3月期第2四半期	14,112	△6.9	△211	—	△143	—	△201	—

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 △417百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △418百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△5.76	—
28年3月期第2四半期	△5.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
29年3月期第2四半期	31,259		13,028		39.0		327.32	
28年3月期	31,361		13,457		40.3		339.23	

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 12,204百万円 28年3月期 12,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	27,500	△1.4	360	4.0	390	3.6	180	85.3	4.83	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	38,008,906 株	28年3月期	38,008,906 株
29年3月期2Q	721,323 株	28年3月期	721,122 株
29年3月期2Q	37,287,678 株	28年3月期2Q	37,288,397 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用環境が続いたものの個人消費の回復には至らず、また、年初来の円高が輸出比率の高い製造業を中心に業績悪化をもたらすなど、予断を許さない状況が続きました。

一方、世界経済に目を向けると、中国や新興国経済の低迷が続くものの、米国経済が堅調に推移したほか、英国のEU離脱問題を巡る金融市場の動揺も次第に沈静化するなど、回復の動きもみられました。

このような環境のなか、当社グループでは、既存事業の営業基盤強化や高付加価値製品の拡販に加え、業務効率向上およびコスト削減による収益力強化に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、125億3百万円（前年同四半期比11.4%減）となり、損益面では、営業損失2千5百万円（前年同四半期は2億1千1百万円の営業損失）、経常損失4千5百万円（前年同四半期は1億4千3百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億1千4百万円（前年同四半期は2億1百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）を計上する結果となりました。

事業別セグメントの状況は次のとおりであります。

#### 化学製品セグメント

オレオケミカル製品は、合成樹脂向け脂肪酸は低調だったものの、医薬・化粧品向けグリセリンおよび生活関連向け界面活性剤が好調に推移し、売上高は前年並みでした。

可塑剤は、原油安の影響を受けたほか、住宅関連資材および電線向けの需要回復の動きが鈍く、売上高は前年を下回りました。

機能性化学品は、新規開発品である特殊油剤や機能性エステルの販売が好調だったほか、自動車向け油剤や水素化関連製品も堅調な売上を確保しました。

樹脂原料製品は、国内は自動車用途の需要が持ち直し堅調に推移、輸出は電機関連向けなど堅調に推移した分野もあったものの、円高の影響もあり、売上高は減少しました。

樹脂添加剤は、国内での販売は堅調に推移したものの、海外での販売が低調であり、売上高は減少しました。

以上の結果、化学製品セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は111億8千5百万円（前年同四半期比12.7%減）、セグメント損失は2千3百万円（前年同四半期は2億1千3百万円のセグメント損失）となりました。

#### その他セグメント

その他セグメントにおいては、リネンサプライおよびコインランドリー向けの販売が伸長したほか、OEM製品の販売も寄与し、製品部門の売上高は前年を上回りました。一方商社部門では、住宅関連資材の需要低迷により苦戦を強いられたものの、トイレタリー関連製品などが売上を牽引したため、売上高は前年比微減に留まりました。

以上の結果、その他セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は13億1千8百万円（前年同四半期比1.1%増）、セグメント利益は4百万円（前年同四半期比569.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前期末比0.3%減、金額で1億2百万円減少し312億5千9百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金、棚卸資産が減少したものの、現金及び預金が増加したことなどにより前期末比1.2%増、金額で1億9千万円増加の166億1千9千万円となりました。固定資産につきましては、投資有価証券を一部売却したことなどにより前期末比2.0%減、金額で2億9千2百万円減少の146億3千9百万円となりました。

流動負債につきましては、短期借入金、未払法人税等が減少したものの、支払手形及び買掛金、1年内返済予定の長期借入金が増加したことなどにより前期末比2.4%増、金額で2億1千2百万円増加の91億5千7百万円となりました。固定負債につきましては、当社および連結子会社1社が加入する厚生年金基金の解散に伴う積立不足見込み額が判明し、厚生年金基金解散損失引当金を計上したことなどにより前期末比1.3%増、金額で1億1千4百万円増加の90億7千2百万円となりました。

純資産につきましては、為替換算調整勘定が減少したことなどにより前期末比3.2%減、金額で4億2千8百万円減少の130億2千8百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は39.0%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、10億7千4百万円増加し、33億円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は11億6千9百万円増加（前年同四半期は9億6千8百万円増加）しました。これは主に、厚生年金基金解散損失引当金の増加3億1千6百万円、売上債権の減少7億4千万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は1億3千6百万円増加（前年同四半期は3億4千2百万円減少）しました。これは主に、投資有価証券の売却による収入2億3千9百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は2億2千2百万円減少（前年同四半期は1億7千8百万円減少）しました。これは主に、借入金の減少1億7千1百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月12日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(厚生年金基金解散損失引当金)

当社及び連結子会社1社が加入している「日本界面活性剤工業厚生年金基金」は、平成28年10月25日開催の代議員会において特例解散の決議がなされたため、同基金の特例解散申請時の代行積立不足額に基づく当社グループの負担額(概算)を引当計上することといたしました。

これにより、当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書の「特別損失」に厚生年金基金解散損失引当金繰入額316百万円、当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表の「固定負債」に厚生年金基金解散損失引当金316百万円を計上しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,454	3,527
受取手形及び売掛金	9,088	8,347
商品及び製品	2,244	1,991
仕掛品	1,402	1,325
原材料及び貯蔵品	873	1,034
その他	368	394
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	16,428	16,619
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,454	3,454
その他(純額)	4,327	4,242
有形固定資産合計	7,781	7,696
無形固定資産		
	29	23
投資その他の資産		
投資有価証券	6,525	6,339
その他	604	587
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	7,121	6,919
固定資産合計	14,932	14,639
資産合計	31,361	31,259

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,726	3,890
短期借入金	1,556	1,471
1年内償還予定の社債	27	9
1年内返済予定の長期借入金	2,458	2,505
未払法人税等	150	84
賞与引当金	183	205
その他	841	990
流動負債合計	8,945	9,157
固定負債		
社債	211	206
長期借入金	5,357	5,223
役員退職慰労引当金	47	50
厚生年金基金解散損失引当金	-	316
退職給付に係る負債	2,177	2,097
その他	1,165	1,178
固定負債合計	8,958	9,072
負債合計	17,904	18,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,246
利益剰余金	2,435	2,220
自己株式	△170	△170
株主資本合計	12,172	11,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	967	1,056
為替換算調整勘定	△424	△761
退職給付に係る調整累計額	△66	△47
その他の包括利益累計額合計	476	247
非支配株主持分	808	823
純資産合計	13,457	13,028
負債純資産合計	31,361	31,259



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	14,112	12,503
売上原価	12,168	10,381
売上総利益	1,943	2,121
販売費及び一般管理費	2,155	2,147
営業損失(△)	△211	△25
営業外収益		
受取配当金	75	64
為替差益	22	-
持分法による投資利益	24	12
その他	20	14
営業外収益合計	143	91
営業外費用		
支払利息	52	42
為替差損	-	61
その他	22	7
営業外費用合計	75	111
経常損失(△)	△143	△45
特別利益		
固定資産売却益	0	-
投資有価証券売却益	-	203
事業譲渡益	-	45
特別利益合計	0	248
特別損失		
固定資産除却損	5	14
本社移転費用	-	7
厚生年金基金解散損失引当金繰入額	-	316
特別損失合計	5	339
税金等調整前四半期純損失(△)	△149	△136
法人税、住民税及び事業税	38	47
法人税等調整額	0	3
法人税等合計	38	51
四半期純損失(△)	△188	△187
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	26
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△201	△214

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△188	△187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△176	88
為替換算調整勘定	△5	△4
退職給付に係る調整額	△1	19
持分法適用会社に対する持分相当額	△47	△332
その他の包括利益合計	△230	△229
四半期包括利益	△418	△417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△431	△443
非支配株主に係る四半期包括利益	13	26

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△149	△136
減価償却費	441	310
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8	21
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	3
厚生年金基金解散損失引当金の増減額(△は減少)	-	316
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△41	△34
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△34	△59
受取利息及び受取配当金	△79	△69
支払利息	52	42
持分法による投資損益(△は益)	△24	△12
固定資産除却損	5	14
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△203
事業譲渡損益(△は益)	-	△45
売上債権の増減額(△は増加)	725	740
たな卸資産の増減額(△は増加)	△229	168
仕入債務の増減額(△は減少)	396	164
その他	△150	34
小計	914	1,255
利息及び配当金の受取額	121	80
利息の支払額	△53	△38
法人税等の支払額	△14	△128
営業活動によるキャッシュ・フロー	968	1,169
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	2	△2
有形固定資産の取得による支出	△250	△122
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	-	239
関係会社株式の取得による支出	-	△33
事業譲渡による収入	-	45
その他	△92	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△342	136
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,186	△85
長期借入れによる収入	2,600	900
長期借入金の返済による支出	△1,544	△986
社債の償還による支出	△18	△22
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△18	△17
配当金の支払額	△0	-
非支配株主への配当金の支払額	△11	△11
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178	△222
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	451	1,074
現金及び現金同等物の期首残高	1,532	2,226
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,983	3,300

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額(注) 3
	化学製品				
売上高					
外部顧客への売上高	12,808	1,303	14,112	—	14,112
セグメント間の内部売上高又は振替高	854	117	971	△971	—
計	13,662	1,420	15,083	△971	14,112
セグメント利益又は損失(△)	△213	0	△212	0	△211

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業および保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書計上額(注) 3
	化学製品				
売上高					
外部顧客への売上高	11,185	1,318	12,503	—	12,503
セグメント間の内部売上高又は振替高	866	99	966	△966	—
計	12,052	1,417	13,470	△966	12,503
セグメント利益又は損失(△)	△23	4	△19	△6	△25

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業および保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△6百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。